

有害鳥獣の**エサ**をなくしましょう

畑の生ごみは有害鳥獣のエサとなります。

エサをなくして、**有害鳥獣を寄せ付けない！増やさない！**

特に鳥類は、冬に個体数が半減するとされますが、冬期の放置果樹等は、有害鳥獣の越冬を助け、個体数の増加を招きます。また、一度味を覚えた動物は、今後も餌場と認識し出没する可能性が高いため、早めの対策が必要です。

対策方法

- ・収穫されない果樹等は放置しない
- ・収穫見込みのない果樹(カキ等)は伐採する。(木を低くし管理しやすくする)
- ・廃棄果樹等の生ごみは、コンポストで管理するか埋設をする。



【須坂市内でみられる放置果樹や廃棄果樹】

① カラスが柿の木に集まる(周辺に30羽程度確認)



② カラスの食痕(落ちていたリンゴ)



③ ブドウ廃棄



④ ぶどうの食痕

